

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	3月31日
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 TEL 0120-094-777 (通話料無料)
上場証券取引所	大阪証券取引所
公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL http://www.gmb.jp (ただし、電子公告によることができない事故、 その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本 経済新聞に公告します。)
証券コード	7214

(ご注意)

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。
- 大阪証券取引所は、平成25年7月16日をもって東京証券取引所と市場の統合を行う予定のため、同日以降の上場証券取引所は東京証券取引所になります。



〒636-0295 奈良県磯城郡川西町大字吐田150番地3
TEL. 0745(44)1911(代表) FAX. 0745(44)1930
<http://www.gmb.jp>

GMB REPORT



第51期 年次報告書

平成24年4月1日～平成25年3月31日



株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のことと存じます。また、平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。ここに、第51期(平成24年4月1日～平成25年3月31日)の年次報告書をお届けいたします。



代表取締役会長
松岡 信夫



代表取締役社長
阪口 有一

GMBは創業70周年を
迎えました。
皆様の温かいご支援に対して
心より御礼申し上げます。

GMB

70th
Anniversary

Q1 当期の業績について、教えてください。

海外補修用部品の販売苦戦。 固定費の増加と特別損失の計上で収益が悪化。

当期、当社グループは、欧州における新車販売動向、韓国国内の自動車生産・販売動向、イランに対する国連経済制裁の強化、海外補修用部品市場における円高や価格競争などの影響により、販売面で苦戦いたしました。また、人件費などの固定費の増加や、連結子会社であるGMB KOREA CORP. が韓国証券取引所に新規上場し(詳しくは5ページ、TOPICS01をご覧ください)、出資持分の変動を伴う公募増資を実施したことによる持分変動損失388百万円の特別損失計上などにより、収益は悪化することとなりました。

この結果、当期の業績は、売上が46,119百万円(前期比3.3%減)となり、営業利益は1,308百万円(同53.8%減)、経常利益は1,483百万円(同45.3%減)、当期純利益は416百万円(同72.1%減)となりました。

Q2 現在の経営環境について、お聞かせください。

自動車需要は今後も拡大路線。 円安基調の定着により、輸出競争力が改善。

海外売上比率が高い当社グループにとっては、欧州景気低迷の長期化や中国景気の減速など不安定な要素もありますが、アジア、北米市場を中心に世界の自動車需要は、堅調を維持しており、今後も引き続き拡大していくと予想しております。同時に、価格競争が一層激しさを増すことが予想されますので、今後さらに海外での生産体制を強化すると同時に競争力を維持・向上させるためのコストダウンや技術革新をこれまで以上に推進していかなければ

ならないと考えております。

日本においては、最近の積極的な金融政策への期待感や、円高修正による企業業績の回復など、景気回復基調が鮮明になりつつあり、為替相場の円安基調が定着することで、輸出品の競争力が改善するものと予想しております。

Q3 来期の取組みについて、お聞かせください。

新市場・新製品の開発や生産能力の増強に スピーディーに経営資源を注力。

新車部品市場においては、引き続き韓国・中国を中心に生産体制を強化しつつ、中国、タイ、北米市場などへ販路拡大をすすめてまいります。補修用部品市場においては、海外生産拠点の生産性改善などのコスト競争力強化と協力工場を活用した取扱製品の拡大と品揃えの充実をすすめることで、販売の回復と拡大に取り組んでまいります。

平成25年1月には中国に物流・品質管理の拠点として吉美美(杭州)汽配有限公司を設立しましたが(詳しくは6ページ、TOPICS02をご覧ください)、当期につきましても、4月に韓国において、当社の主力製品であるウォーターポンプの専門工場としてAG TECH CORP.を設立いたしました。引き続き、新市場・新製品の開発や生産能力の増強のために、タイや中国の生産拠点等に必要な投資を行っていくつもりであります。また、次世代に繋がる新製品や新技術導入を推し進め(関連ニュース:6ページ、TOPICS03)、新車部品と補修用部品の両市場における事業の拡大と収益力の強化に努めてまいります。

上記の取組みの結果、平成26年3月期の連結業績見通しについては、売上高57,500百万円(前期比24.7%増)、営業利益2,100百万円(同60.5%増)、経常利益1,550百万円(同4.5%増)、当期純利益700百万円(同68.1%増)を見込んでおります。なお、計画しております、為替レートは1USD =95円、1KRW=0.085円としております。

Q4 今後の持続的な成長に向けて、経営基盤強化について、お聞かせください。

グローバル企業として、株主利益の極大を 図りつつ、コーポレートガバナンスを強化。

当社では、お客様を第一とする経営理念を実現するため、あらゆるお客様のニーズに商品を提供する活動を通じて、社会に貢献するとともに、持続可能な環境にやさしいモノづくりを全社員で推進しております。

また、CSRの取組みとして、21世紀の企業に求められる持続可能企業を目指し、当社に関わりのある全ての人々へ社会的責任を果たすよう最善を尽くすべく、「CSR Mission」と「CSR Core Concept」を制定しました(詳しくは当社ホームページをご覧ください)。

加えて、グローバル企業として、ステークホルダーとの関係において、経営層が株主利益の極大を図りつつ、経営基盤に多大な影響を及ぼす対象事案について「規範の順守」・「透明性」・「企業倫理の浸透」を高めるためのコーポレートガバナンス改革にも引き続き取り組んでいく考えです。

Q5 配当方針について、教えてください。

高いレベルでの設備投資資金需要のなかでも、安定配当継続。

当社は、利益配分につきましては、将来の事業展開と経営体制の強化のために必要な内部留保を確保しつつ、安定した配当を継続して実施していくことを基本方針としており、今後も業績動向を勘案しつつ、この水準を安定的に継続していく方針であります。

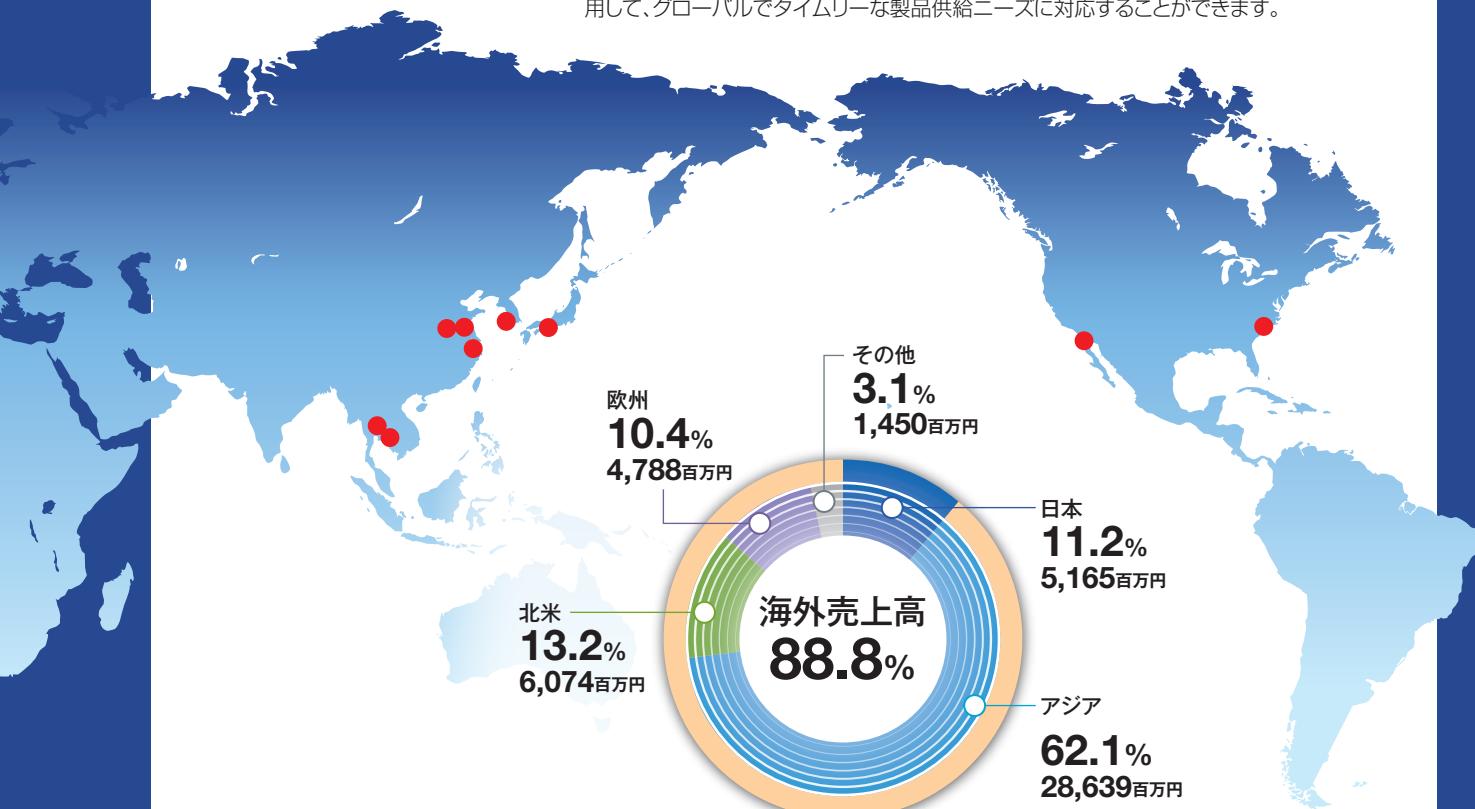
内部留保資金につきましては、今後予想される経営環境の変化に対応すべく、海外生産拠点の拡充、コスト競争力強化、市場ニーズに応える技術・製品開発体制の強化など、グローバル戦略の展開を図るために有効投資してまいりたいと考えております。

世界の自動車市場で活躍するGMBブランド

01 GMBの供給体制

Global Supply System

GMBは独立系の自動車部品メーカーとして、韓国系をはじめとする世界の自動車メーカー・部品メーカーと取引をしております。また、海外におきましては、修理・交換専門部品メーカーとしてのブランドも確立しております。いち早く海外展開を進めながら、製品によっては世界トップレベルの量産規模を誇るまでに成長しております。海外のグループ生産拠点を有効活用して、グローバルでタイムリーな製品供給ニーズに対応することができます。

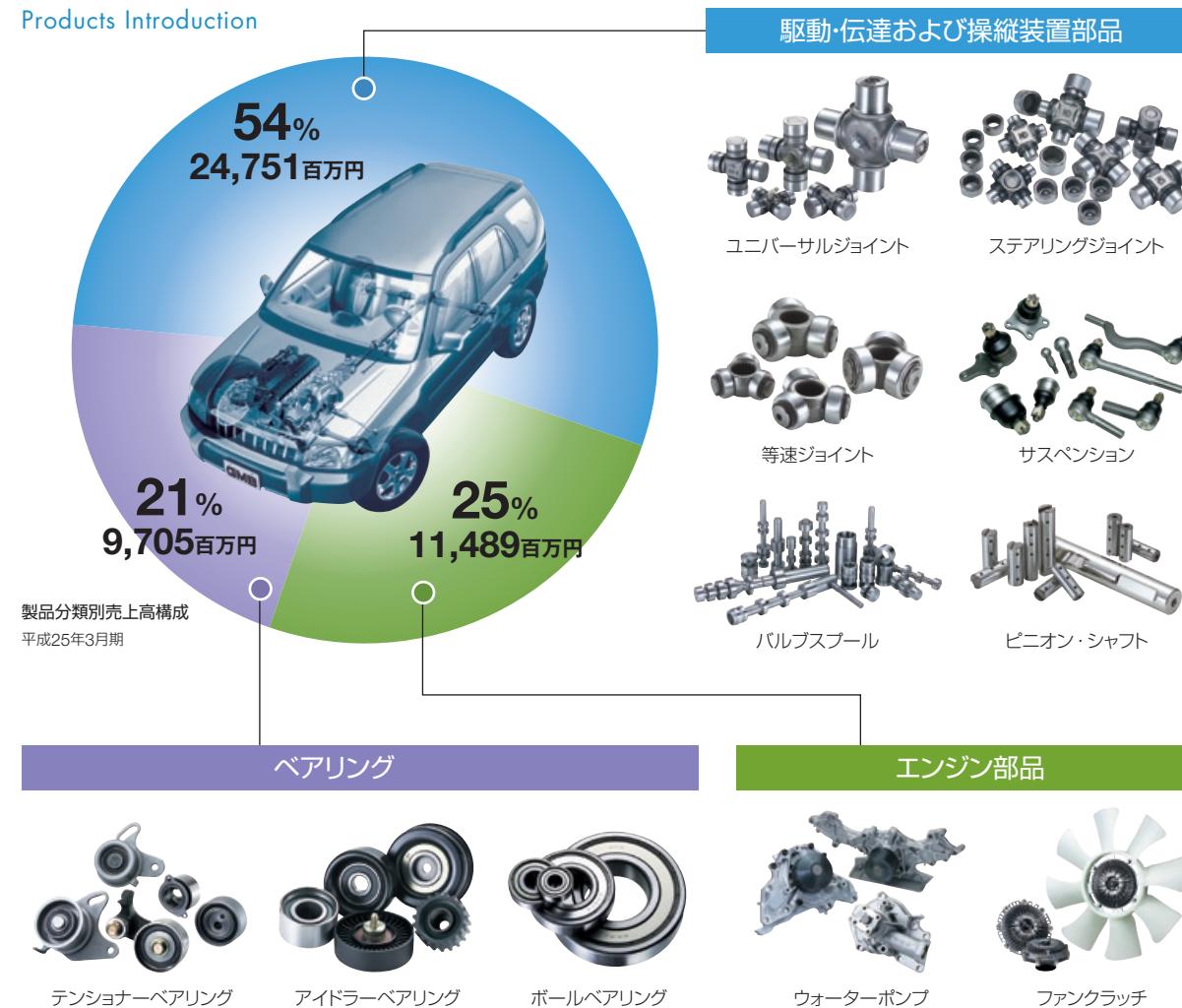


(平成25年3月期地域別売上高)

02 GMBの製品

Products Introduction

機能・強度・耐久性など、自動車部品に求められる基本的な品質を保证するため、多年の豊富な経験を踏まえて日々改善・改良に努めています。クオリティこそGMBブランドの証です。



TOPICS 01

GMB KOREA CORP.が韓国証券取引所に上場

当社の連結子会社でありますGMB KOREA CORP.が平成24年11月20日付けで韓国証券取引所に新規上場いたしました。

概要および経緯

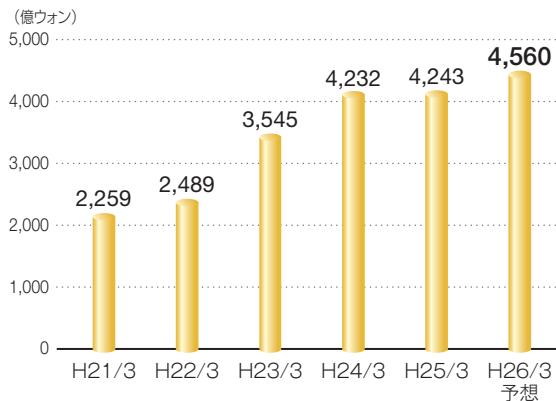
GMB KOREA CORP.は、韓国において自動車部品の製造・販売を営んでおり、現代自動車をはじめ韓国国内の自動車メーカー・部品メーカーへの販売を中心に順調に事業を展開しております。さらに、近年増加傾向にある設備投資の資金需要に対応する資金調達手段の多様化、知名度の向上による優秀な人材の確保など、韓国証券取引所への株式上場を通じて、更なる成長段階へステップアップをするべく上場準備をいたしました。そして、韓国証券取引所お

よび韓国金融監督院において、所定の手続きや審査を経て、平成24年11月20日に、韓国証券取引所において売買開始となりました。

韓国証券取引所について

韓国証券取引所は、韓国取引所の一部門であり、他の二部門(店頭市場(KOSDAQ)、韓国先物取引所)と合わせての平成24年の取引高は、15,180億ドル(世界第8位)、時価総額11,790億ドル(世界第15位)と世界でも有数の取引規模を誇る取引市場です。

▶ GMB KOREA CORP. の売上高推移



TOPICS 02

中国で連結子会社設立

平成25年1月、中国国内の協力工場から調達する製品の物流・品質管理拠点とする目的で、連結子会社GMB KOREA CORP.の100%出資により吉明美(杭州)汽配有限公司を設立しました。

将来的には、中国国内への販売や当社グループの外注業務を物流・品質面で一元管理する拠点として有効活用してまいりたいと考えております。



TOPICS 03

SIM-Drive参画

電気自動車の研究開発を行う株式会社SIM-Driveの先行開発車の試作に、他の約25の企業・団体と共に参画し、平成25年3月に第3号車「SIM-CEL」が完成しました。GMBの技術が、電動ウォーターポンプ、中間シャフト、タイロッドエンド(アルミ製)、スタビライザリンク、リヤナックルの5つの項目において採用されました。本年度も引き続きSIM-Driveの事業に人材を派遣し、環境にやさしく、次の時代を見据えた新しい技術の習得に努めてまいります。



科目	当期	前期	科目	当期	前期
	平成25年3月31日現在	平成24年3月31日現在		平成25年3月31日現在	平成24年3月31日現在
資産の部			負債の部		
流動資産	26,721	21,967	流動負債	16,450	14,718
① 固定資産	20,928	18,515	固定負債	7,883	6,615
有形固定資産	19,575	17,290	負債合計	24,334	21,333
無形固定資産	267	249	純資産の部		
投資その他の資産	1,086	975	株主資本	18,564	18,356
資産合計	47,650	40,483	その他の包括利益累計額	△808	△2,484
			その他有価証券評価差額金	0	△30
			為替換算調整勘定	△809	△2,454
			少数株主持分	5,561	3,278
			純資産合計	23,316	19,149
			負債・純資産合計	47,650	40,483

科目	当期	前期
	自平成24年4月1日 至平成25年3月31日	自平成23年4月1日 至平成24年3月31日
売上高	46,119	47,690
売上原価	38,923	39,086
売上総利益	7,195	8,603
販売費及び一般管理費	5,887	5,773
営業利益	1,308	2,830
経常利益	1,483	2,710
特別利益	2	15
② 特別損失	441	55
税金等調整前当期純利益	1,044	2,670
当期純利益	416	1,493

科目	当期	前期
	自平成24年4月1日 至平成25年3月31日	自平成23年4月1日 至平成24年3月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,050	2,048
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,074	△3,780
③ 財務活動によるキャッシュ・フロー	2,722	452
現金及び現金同等物に係る換算差額	243	△24
現金及び現金同等物の増減額	941	△1,305
現金及び現金同等物の期首残高	2,395	3,701
現金及び現金同等物の期末残高	3,337	2,395
フリー・キャッシュ・フロー	△2,024	△1,732

POINT ① 27億円の設備投資を実施

当期中、韓国・中国の生産拠点を中心に、新市場・新製品の開発や生産能力の増強を目的として総額27億円の設備投資を実施しました。

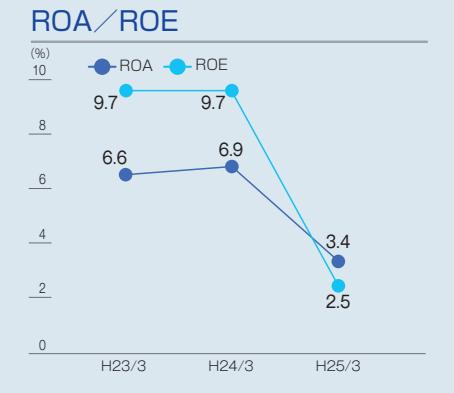
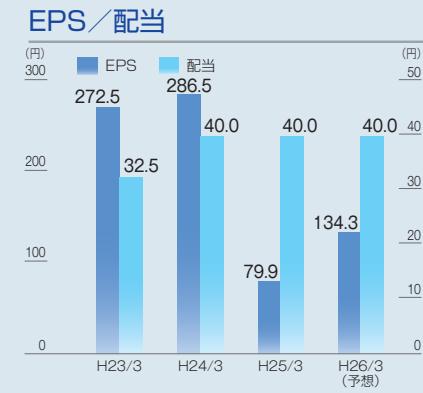
POINT ② 持分変動損失を計上

連結子会社であるGMB KOREA CORP. が韓国証券取引所に新規上場し、出資持分の変動を伴う公募増資を実施したことにより、持分変動損失388百万円を特別損失として計上しました。

POINT ③ 財務活動によるキャッシュフローの増加

主に借入金による資金調達額が前期比1,336百万円増加し、連結子会社のGMB KOREA CORP. が公募増資により1,098百万円の資金調達を行ったことによるものです。

財務ハイライト



① 青島吉明美汽车配件有限公司

当社および GMB KOREA CORP. の各製品のうち、主にバルブスプール・ベアリングの製造をしております。

② 青島吉明美機械制造有限公司

当社および GMB KOREA CORP. の各製品のうち、主にベアリング・ユニバーサルジョイントの部品および製品の製造をしております。

③ 吉明美（杭州）汽配有限公司

平成 25 年 1 月に設立した中国国内の協力工場から調達する製品の物流・品質管理拠点です。

④ THAI GMB INDUSTRY CO.,LTD.

当社の各製品のうち、主にウォーターポンプ・サスペンションパーツの部品および製品の製造をしております。また、一部タイ国内販売も手掛けております。

⑤ THAI KYOWA GMB CO.,LTD.

平成 21 年に協和工業株式会社との合併にて設立した持分法適用会社です。

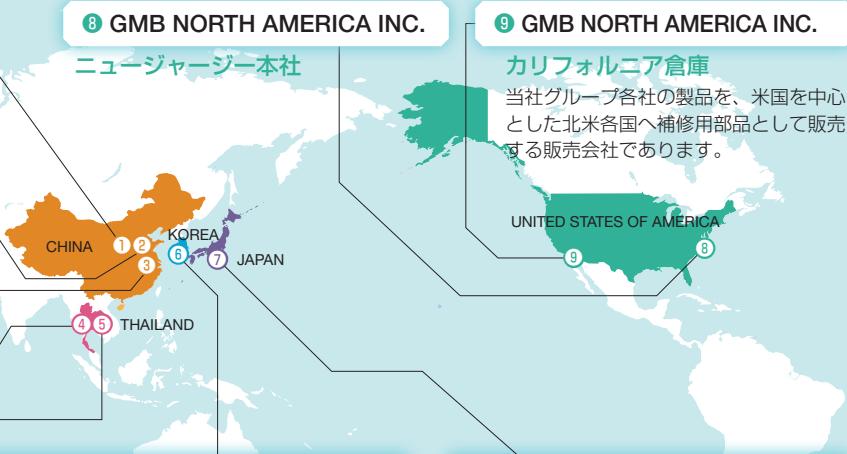
⑥ GMB NORTH AMERICA INC.

ニュージャージー本社

⑨ GMB NORTH AMERICA INC.

カリフォルニア倉庫

当社グループ各社の製品を、米国を中心とした北米各国へ補修用部品として販売する販売会社であります。



⑥ GMB KOREA CORP.

第一工場・第二工場・瑞山工場

自動車部品等の各種ベアリング製品、エンジン部品であるファンクラッチ・ウォーターポンプ、駆動・伝達および操縦装置部品であるバルブスプール・ユニバーサルジョイントを中心とした部品の製造・販売を営んでいるとともに、当社同様に先行研究開発や商品開発を行っております。また、販売上の特徴として、主に韓国国内の自動車完成品メーカーおよびその系列会社への販売が中心であります。

⑦ 当社(GMB株式会社)・八尾工場

自動車のエンジン部品であるウォーターポンプ、駆動・伝達および操縦装置部品であるユニバーサルジョイントを中心とした部品の製造・販売および各子会社の製品の販売を主に営んでいるとともに、グループ中核企業として先行研究開発や商品開発を行っております。また、販売上の特徴として、主に海外補修用市場向けに販売を行っております。



商号 GMB株式会社
 会社設立 昭和37年5月
 資本金 838,598,000円
 代表者 代表取締役会長 松岡信夫
 代表取締役社長 阪口有一
 従業員数 連結 2,622名 単体 384名
 事業所 本社・奈良工場
 〒636-0295 奈良県磯城郡川西町大字吐田150番地3
 TEL.(0745)44-1911(代)
 FAX.(0745)44-1930
 Web Site http://www.gmb.jp
 八尾工場
 〒581-0814 大阪府八尾市楠根町4丁目20番1号
 TEL.(072)997-1521(代)
 FAX.(072)997-2481
 グループ会社 GMB KOREA CORP.(韓国 慶尚南道昌原市)
 GMB NORTH AMERICA INC.
 (アメリカ ニュージャージー州)
 青島吉明美機械制造有限公司(中国 山東省萊西市)
 青島吉明美汽车配件有限公司(中国 山東省即墨市)
 吉明美(杭州)汽配有限公司(中国 浙江省杭州市)
 THAI GMB INDUSTRY CO.,LTD.
 (タイ プラチンブリ県)
 THAI KYOWA GMB CO.,LTD.
 (タイ プラチンブリ県)

役員 (平成25年6月21日現在)
 代表取締役会長 松岡信夫
 代表取締役社長 阪口有一
 代表取締役副社長 小菅清
 専務取締役 金本現一
 専務取締役 桑村周二
 常務取締役 加藤正
 常務取締役 香田剛昌
 常務取締役 松岡祐吉
 常勤監査役 水谷晃
 監査役 平野邦男
 監査役 浜本章

発行可能株式総数 19,000,000株
 発行済株式の総数 5,212,440株
 株主数 2,171名
 大株主

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
松岡信夫	1,096,775	21.0
松岡登志夫	700,350	13.4
松岡光子	416,375	8.0
GMB従業員持株会	237,770	4.6
松岡百合子	220,625	4.2
松岡弘枝	122,500	2.4
金本順子	98,750	1.9
松岡祐吉	88,125	1.7
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社(信託口)	80,400	1.5
飯野達人	60,000	1.2

(注)持株比率は、小数第2位以下を四捨五入して表示しております。

所有者別株式分布状況

